

標準締付トルク一覧表

M3	(0.8 ～ 1.3) N・m	{ (8 ～ 13) kgf・cm }
M5	(3 ～ 4.5) N・m	{ (30 ～ 45) kgf・cm }
M6	(6.5 ～ 9.5) N・m	{ (65 ～ 95) kgf・cm }

※本文中に締付トルクの記載が無いねじ締結部は、上の表に従って組み立てを行ってください。

未組み立て部品について

■未組み立て部品明細表

チェック	部品名	個数
	ペダル	1 セット
	端子カバー	1 セット
	セーフティーキャップ [®] (ハンドルステムねじ用)	1

お知らせ

- 組み立てに伴う専用工具「ペダルレンチ」と「六角棒レンチ」は担当の支店 / 代理店にて斡旋しております。



ペダルレンチ



六角棒レンチ

お願い

- 左記部品は梱包のために仮組み付けしている場合もありますので、取り付け状態や締め付けを必ず確認、調整してください。

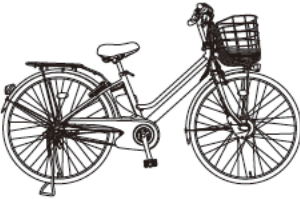
Panasonic[®]

組立説明書

電動アシスト自転車

品番 BE-EKAT63

販売店様用 K-2025



ビビチャージ・AT

組立説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に組み立ててください。
特に「安全上のご注意」は、組み立て前に必ずお読みください。

お願い

- 工場より出荷された自転車は社内規格によって正常かつ確実な組み立てを行っており、梱包も損傷することの無いよう配慮しております。しかし、輸送中の振動・衝撃により金属部分の接触面などにナジミを生じ、緩むことも考えられます。車輪の振れ、各部締め付けねじ類を点検・調整の上、完全な商品としてお客様にご販売くださるようお願いいたします。
- 前後タイヤの空気圧の点検をお願いします。
- 点検などに関して詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
- 次回の点検からも取扱説明書の裏表紙にある定期点検・整備チェックリストをもとに確認してください。
- メンテナンスする際にも組立説明書が必要になります。ご販売店様でも保管することをおすすめします。

お知らせ

- 組立説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しないで組み立てされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その組み立てが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 説明で、図などが多少異なりますが取り扱いおよび組み立て方はほぼ同じです。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

警告

■ハンドルステムおよびシートポストははめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入して組み付ける

はめ合わせ限界標識が見えるところで組み付けると、ステムまたはポストの折れにより転倒によるけがのおそれがあります。

■ハンドルステムははめ合わせ限界標識以上引き上げない

ハンドルステムの折れにより転倒によるけがのおそれがあります。
禁止

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町 13 番 13 号

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

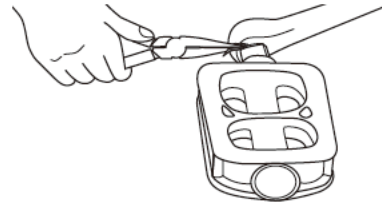
■ハンドルバー固定部は必ず増し締めを行い確実に固定する
！ハンドルバーがぐらつき転倒によるけがのおそれがあります。

■ロックナットは確実に締め付ける
！ブレーキの調整が狂い転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■ワイヤ・コード類は、指定の場所、指定のコードクリップなどで固定する
！ワイヤ・コードを車輪などに巻き込んで、急激にロックし、転倒によるけがのおそれがあります。

■ブレーキグリスの補給には、必ずローラーブレーキ専用グリス(NBP002)を使用する
！制動力が低下し、転倒や衝突によるけがのおそれがあります。
●補給する目安は1回約5gです。

注意

■ヒゲ状のバリを取り除く
！

バリによるけがのおそれがあります。
●ペダルをクランクに締め付けた際に、ヒゲ状のバリが発生することがあります。バリが残らないように、工具(ラジオペンチ・ニッパーなど)で取り除いてください。このとき、けがをしないよう注意してください。

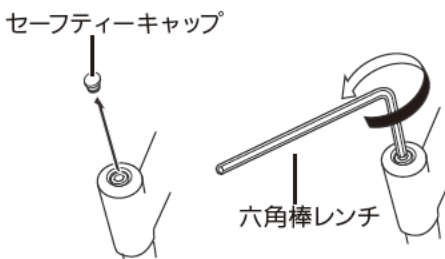
■六角棒レンチは六角穴付きボルトの奥まで確実に差し込み、締め付けを行う
！はずれてけがをするおそれがあります。

■シートピンを締めすぎない
！シートクランプが破損するおそれがあります。
禁止

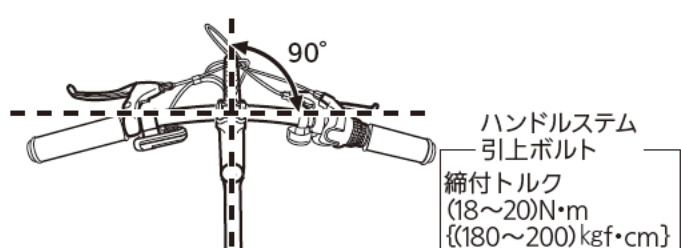
組立方法

■ハンドルバーの調整

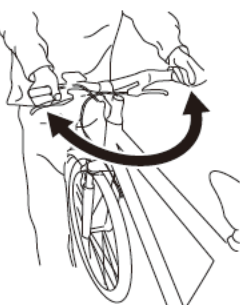
①下図のようにハンドルステム引上ボルトを緩めます。



②ハンドルバーと前車輪が直角になるように調整し、六角棒レンチでハンドルステム引上ボルトを締め付けます。



③締め付け後、以下の方法で固定が十分か確認します。
前車輪を両足ではさみ、両手で握り部を強く左右に回して150 N {15 kgf}、ハンドルバーが前車輪に対して回転しないことを確認してください。



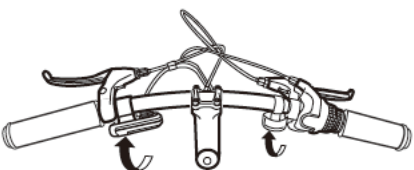
④ハンドルの調整、固定後ブレーキレバーを握ってブレーキが利くことを確認してください。

お願い

●さび付きによる固着を防止するためハンドルステムの挿入部には薄くグリスを塗ってください。

■手元スイッチ、ベルの角度調整

○手元スイッチ、ベルは図のように起こし、適正な角度で締め付けを行ってください。



●手元スイッチの組み付け角度



ご注意

●締めすぎると、変形・外観不良の原因になります。
特に、電動ドライバーで締め付けを行う場合、設定トルクによっては、ナットが共回りしてしまうことがありますので、十分注意してください。

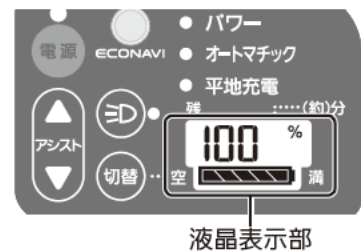
組立方法(つづき)

■ブレーキの調整・確認

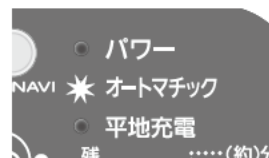
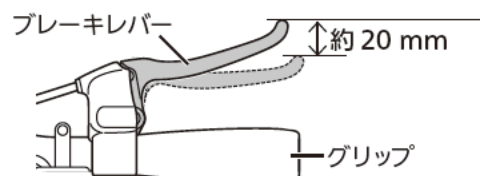
○このモデルは回生充電機能付きのため、ブレーキ制動中は電気的なブレーキ力(制動力)が発生し速度調節の補助をします。以下の手順でブレーキの動作確認と調整を行ってください。

●回生充電用スイッチの動作確認

①電源を入れたら、アシストランプ(モード表示ランプ)と液晶表示部が点灯します。



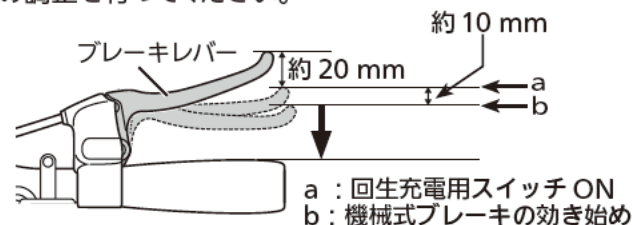
②左右どちらかのブレーキレバーを引いていくと、約20 mm を過ぎた位置でアシストランプ(モード表示ランプ)が少し明るくなります。この事象は回生充電用スイッチが入ったことを示しています。



約20 mm を過ぎた位置でアシストランプ(モード表示ランプ)が少し明るくなります。

●機械式ブレーキの動作確認

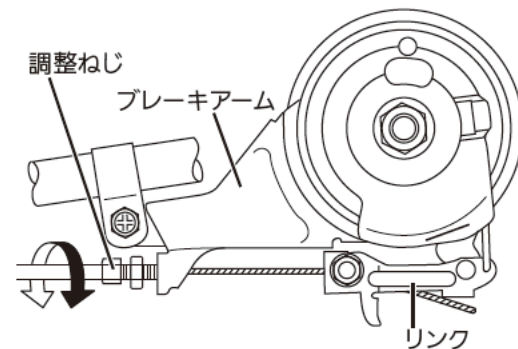
回生充電用スイッチが入った位置からさらに約10 mm 引いたときに、機械式ブレーキが利き始めるようにブレーキの調整を行ってください。



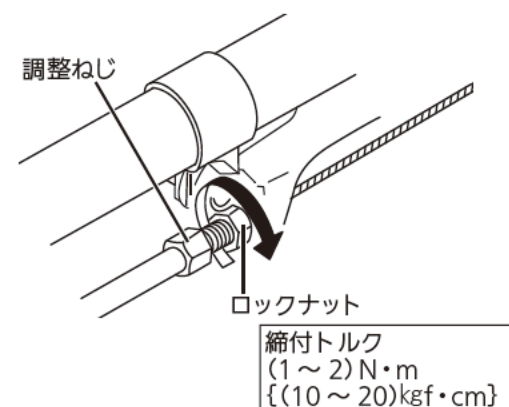
a : 回生充電用スイッチ ON
b : 機械式ブレーキの効き始め

●後ローラーブレーキの調整

○調整ねじを回して、ブレーキレバーとグリップの間隔が、上記の位置で、ブレーキが利くように調整します。



○ブレーキレバーを握り、ブレーキの利きを確認したあと、ロックナットで調整ねじを固定します。

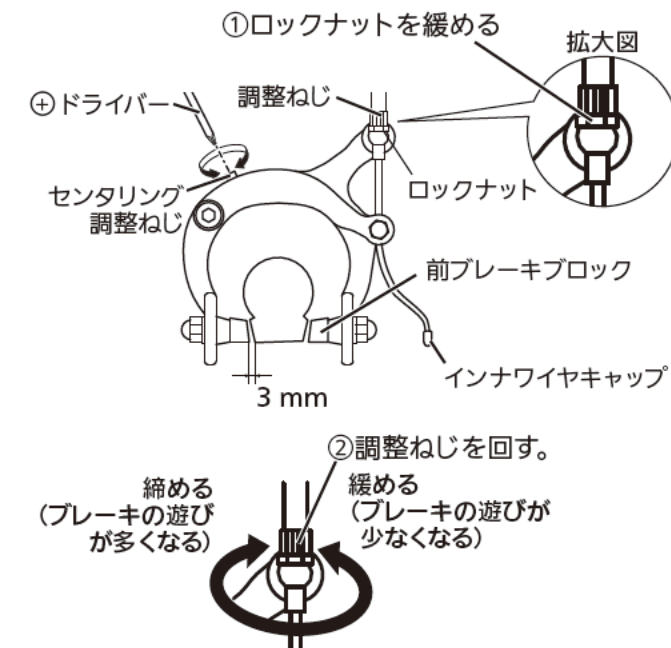


お願い

- 確実な制動力を得るために、通常約1~2年に1回程度はローラーブレーキ専用グリスを補給してください。
- ブレーキをかけた場合、音鳴りがしたり、ブレーキの利きが異常に強過ぎたりするときは、ブレーキグリスの不足が考えられます。ローラーブレーキ専用グリスを補給してください。

組立方法(つづき)

●前キャリパーブレーキの調整

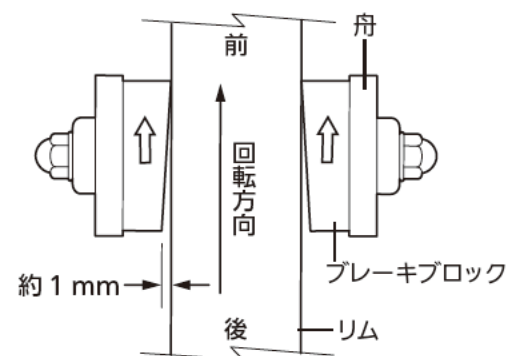


- ③センタリング調整ねじで、リムと前ブレーキブロックのすき間が左右均等になるように調整する。
- ④調整後、走行してブレーキの利きを確認する。
- ⑤調整ねじが緩まないよう、ロックナットを十分に締め付ける。

締付トルク
(1~2) N・m
{(10~20) kgf・cm}

●前ブレーキブロックについて

○ブレーキブロックに方向性があります。ブレーキを上側から見て、矢印を進行方向に合わせてください。ブレーキブロックがテーパ状になっており、後側に約1 mm のすき間ができ、異音防止の効果があります。

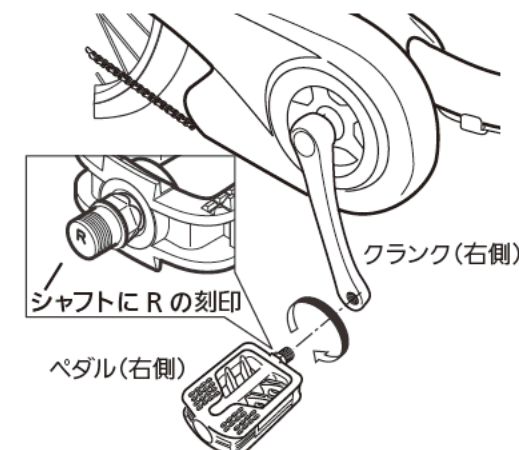


お願い

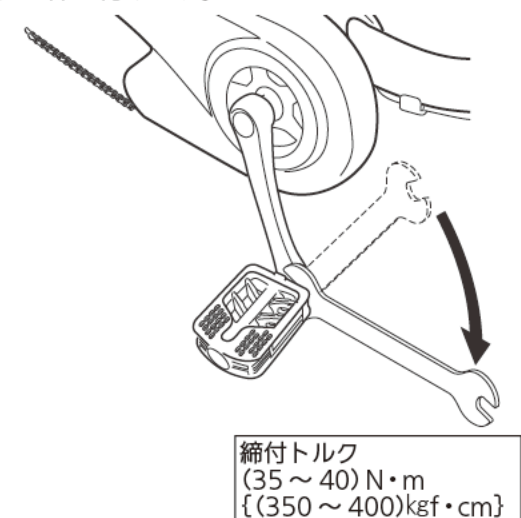
- ブレーキレバー解放時に前ブレーキブロックとリムのすき間が、左右均等であることを確認してください。
- 後ブレーキのひきずりが無いことを確認してください。
- ブレーキレバーがグリップに付くまでのストロークの2/3~1/2の位置でブレーキが利き始めることを確認してください。

■ペダルの組み付け

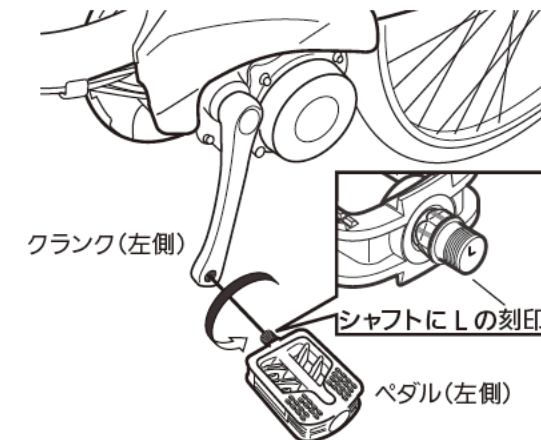
※ペダルは左右でねじ方向が違います。右ペダルは右ねじ、左ペダルは左ねじです。
①クランク(右側)にペダル(R)のシャフトを時計方向に回し、ねじ込みます。



②ペダルレンチで締め付けます。

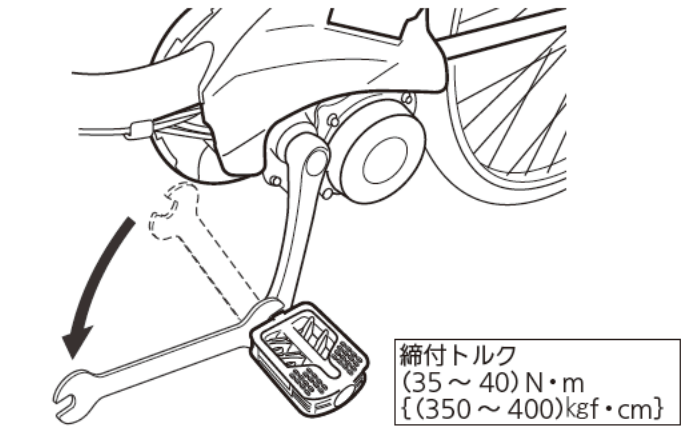


③クランク(左側)にペダル(L)のシャフトを反時計方向に回し、ねじ込みます。



組立方法(つづき)

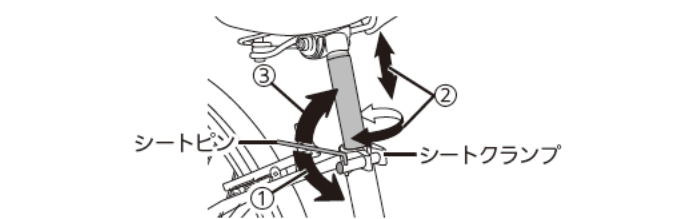
④ペダルレンチで締め付けます。



※最後の締め付けは、約 45° 上方の点線の位置より、矢印方向に回して固定してください。
(走行時のクランク回転方向が、ペダル締め付け方向です。)

■シートピン・シートポストの調整

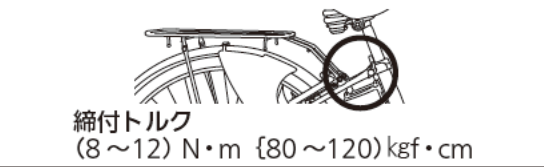
- ①レバーを緩める。
- ②サドルの高さと向きを調整する。
- ③レバーを締める。
- ④がたつきやずれが無いことを確認する。



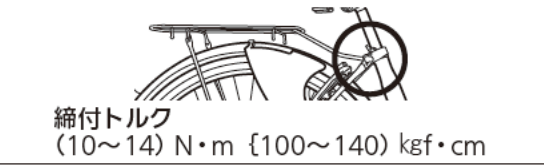
お知らせ

●以下のトルクでシートポストは十分固定されます。締め過ぎるとシートクランプが破損するおそれがあります。

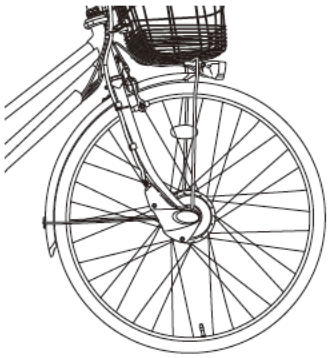
リヤキャリアがシートクランプ止めで無い場合



リヤキャリアがシートクランプ止めの場合



< 参考 > 前ハブナット締め付トルク



●タイヤ交換、修理などで前ハブナットを緩めた場合修理後、下記のトルクで締め付けを行ってください。

対辺 15 mm M10 ナット
(30 ~ 35) N・m
{(300 ~ 350) kgf・cm}

お客様への説明

必ずお客様にご説明の上お渡しください。

お願い

- 保証書に必要事項をご記入いただき、「取扱説明書」とともに必ずお客様にお渡しください。
(キーの番号は保証書に印字されています。)
- 防犯登録が義務化されていることをご説明いただき、登録を行ってください。
- 組み立て後、バッテリーを満充電してください。3 か月以上の長期保存の場合、およびお客様に商品をお渡しする際にも、満充電をしてお渡しください。
- 組み立ての済んだ自転車は取扱説明書裏表紙の「定期点検・整備チェックリスト」にてチェックを行い、必ず実走によるブレーキテストを実施の上、お客様にお渡しください。

■端子カバーの使いかた

お願い

- 長期間、自転車からバッテリーを取り外したままにする場合や、充電器を使用にならないときは、汚れやほこりが付かないように、付属の端子カバーを装着してください。

